

世界に羽ばたく人材育成

「太宰府SDGsプロジェクト」提案報告会

筑紫女学園大学、西日本鉄道(株)、(株)西日本シティ銀行と本市で地域活性化を図る太宰府SDGsプロジェクトを実施しており、先日は市役所で提案報告会が行われました。

本年度は本市の重点施策である「ふるさと納税返礼品・地場みやげを充実させ、市の税収を増加する」をテーマに、筑紫女学園大学と太宰府高校から5チーム21人が検討を重ねた提案に対して、優勝・準優勝チームが決定しました。

優勝は地元企業と連携して米粉ともみ殻でできたタルトを開発し生産・製造・販売する提案、準優勝は食糧危機・地球温暖化に備えて昆虫食を商品化する提案でした。いずれも有意義な提案で、市政にも活かしていきます。



優勝した筑紫女学園大学のチーム



準優勝した太宰府高校のチーム

文化財の調査

水城小学校校舎の改築で遺跡発掘

水城小学校で校舎改築に伴い発掘調査を行ったところ、1300年前の奈良時代の役所の跡が見つかりました。

12月14日(水)~22日(木)にかけて見学会を行い、水城小に通う児童たちが学年ごとに参加しました。21日(水)には楠田市長も現場を訪れ、児童といっしょに土の中に残された奈良時代の柱材や土器を見学しました。24日(土)には一般向けの現地説明会を開催し200人が見学しました。



発掘された遺跡の説明を聞く児童たち

まちのトピックス

団体からの寄贈

太宰府市産業推進保有会から門松寄贈

12月24日(土)、同会の皆さんの手によって市役所と上下水道センターの玄関に門松が設置されました。きれいにそろった竹の切り口などから熟練の技術が感じられ、季節のナンテンやキンカンが彩りを添えています。新三役も新たな気持ちで新年挨拶をし、市役所などを訪れる人は新春気分を楽しんでいました。



新年挨拶をする新三役

市内学生の活躍

第28回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会出場！

太宰府東中3年生の松下愛莉まつした あいりさんが、12月24日(土)から開催の第28回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会出場報告のため、市役所を訪問しました。

松下さんは「緊張はあるが全国優勝をめざして頑張りたい」と力強く意気込みを語りました。

楠田市長は「緊張は人を成長させてくれる。自分の持てる力を最大限に出して頑張ってください」と激励の言葉をかけました。



全国大会出場を決めた松下さん(前列右)

垣根のない社会へ

第5回太宰府障がい者ボッチャ交流会開催

太宰府市身体障害者福祉協会などによるボッチャ交流会が12月3日(土)、とびうめアリーナで開催され、障がいのある人もない人も含め約50人・16チームが参加しました。

ボッチャとは、ジャックボール(白球)に自分のボールを投げたり転がしたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。

感染対策が整った会場内では、ぴたりと寄せるプレーが決まると大きな歓声が沸き、参加者はチームで喜びを分かち合いました。



ジャックボールをめがけて